

市民教授 個人票

No. D09

切り絵(初級編/中級編/応用編) 竹蓋 年男 (たけふたとしお) ゲストティーチャー

住所 317-0064 茨城県 日立市神峰町 生年 1960 男

TEL 090-3691-3796 Fax 0 E-mail ZVH07727@nifty.ne.jp 謝礼 0

指導場所 交流センター、公共施設、その他相談
 指導方法 実技
 アートナイフを用いて黒い紙を切り、季節の花や仏像などを描く基本的な作品から、和紙を使用して色付けをする中級編。さらに立体的なものへの応用編を丁寧に指導いたします。

自己PR 真壁のひなまつりを通して切り絵で町おこしのお手伝いをしてきました。これからは切り絵で日立市や県北の町おこしを楽しくしていこうと思います。お電話を待っています。

指導中の自主グループ	グループ名	指導場所	会員数	ゲストティーチャー歴
	伊勢屋カルチャー	伊勢屋旅館	35	平成28年3月 八千代町立安静小学校で講演
	真壁切り絵の会	真壁伝承館	14	平成29年1月 城里町立常北中学校で講演
	トモア切り絵教室	友部交流センター	20	令和元年7月 桜川市立桃山学園で創作指導

ここ1年~2年間の指導歴	講座名	開催場所	実施回数	参加者数	備考
	親子切り絵教室	真壁伝承館	1	32	
	筑西市公民館講座	協和公民館	21	12	
	梅の香に誘われて	常陽史料館	3	48	
	龍ヶ崎市公民館講座	松葉公民館	4	10	
	宮田元気っ子体験村	宮田交流センター	1	20	その他_3_件

表彰歴・資格

講座のレベル	1:初級(その分野を初めて経験する人を対象)	SNS(フェイスブック、ツイッターなど)のURL
	2:中級(簡単な指導でやっていける程度の人を対象)	
	3:上級(講師を目指す人を対象)	

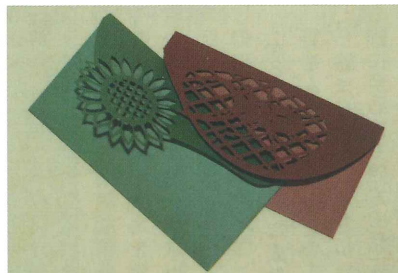


講座企画者への連絡

- ① 1回の講座は2時間です。材料費は講座に合わせてご相談します。(1人1回毎200円以内)
- ② 謝礼は各市民講座に合わせますが、今までの経験上1人500円位が適当かと思えます。
- ③ 会場が遠方の場合には交通費を別途お願いすることがあります。



コースター



ポチ袋

普通のポチ袋や御祝儀袋だったから、中身を取ってポイと捨てられてしまっただけ、切り絵のポチ袋だったから大切な宝



イヤリング・ピアススタンド

切り絵は額装して鑑賞するのが一般的です。しかし、最近では切り絵人口も増え、自分で切った作品を飾る人が多くなってきました。さらにもう一歩足を踏み入れ、日常生活の中に取り入れてみると楽しさ倍増になるものです。前回に書きました切り絵を貼った団扇(うちわ)やランプ

シエードがそれです。他にもいろいろあるので、今回はそんな楽しい切り絵の一部を紹介しよう。例えば、お客さんが来たときに湯呑み茶碗をそのまま出さず、切り絵のコースターに乗せて出したらどうでしょう。些細なことですが、そこから話が弾み、楽しい会話につながるはず。お孫さんにお小遣いをあげる時や、合格祝いなどに切り絵のポチ袋で渡すと大変喜ばれます。

誰でも楽しめる切り絵

切り絵に親しむ

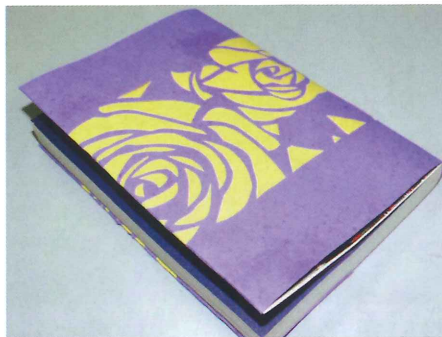
竹蓋 年男

3



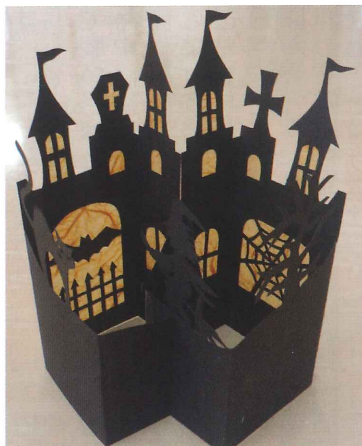
たけふた としお

日立市出身。2003年に塾の講師として真壁町へ赴任。茨城県で開かれた国民文化祭をきっかけに作品制作を始める。2014年に地元の旅館で初の個展を開き、その後は切り絵教室や切り絵の会を通して町おこしの活動が続けている。



ブックカバー

物として保管してくれるはず。皆さんの中には読書好きな方もたくさんいると思いますが、切り絵のブックカバーで包まれた本を持ち歩くだけで、とてもオシャレですね。そんな本を電車やバスの中で読んでいたら、周りの人にも好印象を持たれること間違いありません。また、イヤリングやピアスをたくさん持つて



ハロウィーン

皆さんもこのような作品をつくって生活空間に置いてはいかがでしょう。かきと楽しい毎日になりますよ。

いる女性は少なくないと思いますが、それらをケースや筆筒の中に仕舞い込むことなく切り絵のスタンドに掛けて眺めるのも楽しいものです。季節に合わせた切り絵を折り紙のように折って立体に組んでみると、素晴らしいオブジェにもなります。それをイベントの度に作ることも、日常生活も楽しくなってくるものです。ハロウィーンの立体切り絵はその代表的なものです。ひなまつりやクリスマスにも同じようなものを作ることがで



犬の立体切り絵

きます。また、カブトムシやクワガタムシなどの昆虫や柴犬などを切り折りして、車のダッシュボードに置くだけでドライブレコーダーの友になります。

日々を詠む

【選・評 三浦 武也】

独り居に笑い種持ち来る天使

水庭 源乃

笑い種をだれが持つて来るのでしょうか。それは孫なのです。天使なのです。独り住まいが多くなった今、お土産ではないのです。顔を見ただけでうれしいのです。老いの心情を詠んだ味わいの深い句になりました。

令和三年全日本川柳誌上大会入選句。

歌と切り絵で雨情の世界

日立望郷の詩、聴衆を魅了

北茨城市出身の童謡詩人、野口雨情(1882〜1945年)の生誕140周年を来年に控え、「愛おしい日々」と題した音楽会が11日、日立市十王町友部のゆうゆう十王・Jホールで開かれた。数々の代表曲とともに、まだ無名の雨情が樺太(現ロシア・サハリン)に渡った際に作った望郷の詩「流泊」がアレンジされ、約200人の聴衆の前で公開された。県北生涯学習センターなど主催。

出演したのは、日立市出(一手)、首里奈都美さん(ピセ)、叙情あふれる歌声で熱唱した。



身(ルーツ)、香田亨樹さん(ドラム)の4人。「シャボン玉」「七つの子」など、司会者が1曲ずつ解説した後、山鷲さんが伴奏に合わせ

野口雨情の世界を歌と切り絵で表現した音楽会。日立市十王町友部



る岩佐淳一教授。水戸市緑町。一部を貨物船の倉庫に見立て、タンク内を清掃中に酸

板の酸素濃度や有毒ガスの有無を確認。その後、空気呼吸器を身に着けた潜水士や消防士らがタンクに入る想定で高所から降下した。さらに仲間と連携し、作業員役の男性を乗せた担架をロープでつり上げて救助する動きを見せた。

この日は茨城海上保安友の会の会員や国井豊町長ら約30人が見学に訪れた。訓練で息の合った動きを目の当たりにし、盛大な拍手を送った。



コロナ禍も活動を65人が献血に協力

筑西ライオンズクラブ(飯泉徹会長)は7月21日、筑西市内のホテルで献血事業を行った。猛暑の中、71人から協力の申し出があり、65人が実際に献血。総採血量は2万5600ミリリットルとなり、県赤十字血液センターに送られた。

同クラブは新型コロナウイルス禍の中でもできる事業を見つけ、今後も一丸となり、奉仕活動に取り組む計画だ。

梶山 弘志氏(自民) 13日 党務▽13日 党役員会
▽14日 党役員連絡会、県農業関係団体連絡会懇談会▽18日 19日 地元会合、地域あいさつ回り

今週の知事議長

【大井川知事】14日 茨城産業会議要望(午後2時30分 知事室) 茨城大学ラグビー部表彰(午後4時 知事室)▽15日 いばらきイノベーションアワード授賞式(午前11時30分、知事室) いばらき米の極み頂上コンテスト表彰式(午後0時55分、水戸京成ホテル)▽16日 昭和大学との地域枠設置に係る協定締結式(午後1時20分、庁議室)▽17日 ライオンズ国際平和ボスター・コンテスト知事賞受賞者表彰(午後2時、知事室)

【伊沢議長】13日 県議会関係打ち合わせ(終日、議長室)▽14日 就任あいさつ回り(終日、東京都内)▽15日 就任あいさつ回り(午後、県内)▽16日 県議会関係打ち合わせ(終日、議長室)▽17日 県議会関係打ち合わせ(終日、議長室)

▽15日 【水戸市】水戸アラザホテル(9時半〜16時)【高萩市】JA常陸高萩支店(13時半〜16時)▽16日 【神栖市】DCMホームック神栖店(14時〜16時)▽17日 【土浦市】イオンモール土浦(10時15分〜16時)▽18日 【日立市】日立シビックセンター(10時〜16時)【潮来市】ベイシア潮来店(10時〜16時)▽19日 【土浦市】イオンモール土浦(10時15分〜16時)【坂東市】ヨークタウン坂東(10時〜16時)【常陸大宮市】イオン常陸大宮店(10時〜16時)【水戸市】イオンモール水戸内原(10時15分〜16時)▽13日 19日 【水戸・つくば】献血ルーム(10時〜17時半)

▽15日 党デジタル社会推進部、総務委、本会議▽16日 党費者問題調査会、党選挙制度調査会、行政書士制度推進協議会▽17日 生活衛生協議会、党地方議会の

知事 ○在任 ●不在
○小野寺副知事 ○茨城福祉部
○小善副知事 ○保健福祉部
○教育長 ○福祉担当部
○企業局長 ○営業戦略部
○総務部長 ○立地推進部
○病院事業管理書 ○産業戦略部
○農林水産部 ○農林水産部
○政策企画部長 ○土木部長
○県民生活環境部長

32市幹部の動向
水戸 ○在任 ●不在
○市長 ○田尻副市長
○市長 ○秋葉副市長
日立 ○市長 ○榎山副市長
○市長 ○吉成副市長
土浦 ○市長 ○東郷副市長
○市長 ○栗原副市長
石岡 ○市長 ○市副市長
古河 ○市長 ○市副市長
結城 ○市長 ○市副市長
龍崎 ○市長 ○市副市長

成分献血、400mL献血にご協力をお願いします。

茨城県赤十字血液センター
☎029(246)5574

移動献血の日程
▽15日 【水戸市】水戸アラザホテル(9時半〜16時)【高萩市】JA常陸高萩支店(13時半〜16時)▽16日 【神栖市】DCMホームック神栖店(14時〜16時)▽17日 【土浦市】イオンモール土浦(10時15分〜16時)▽18日 【日立市】日立シビックセンター(10時〜16時)【潮来市】ベイシア潮来店(10時〜16時)▽19日 【土浦市】イオンモール土浦(10時15分〜16時)【坂東市】ヨークタウン坂東(10時〜16時)【常陸大宮市】イオン常陸大宮店(10時〜16時)【水戸市】イオンモール水戸内原(10時15分〜16時)▽13日 19日 【水戸・つくば】献血ルーム(10時〜17時半)

地元の良さを伝えるため
切りはじめた情景

竹蓋さんが切り絵を始めたきっかけは、2003年に真壁町（現・桜川市）に学習塾の塾長として赴任した当初まで遡ります。「街を散策しますと、人っ子一人いない。でも、趣ある構えの店の奥からアハオホホと笑い声が聞こえてくる。で、覗いてみると人懐っこい笑顔が迎えてくれるんです。そこで必ず聞かれる言葉は『何もない街でしょ?』その度に、いやいや、ありますよーと、もどかしく思ったものです」当時、旧・真壁町には有形文化財が50棟もあり、市町村レベルでは日本一でした。

「地元の価値というのは住んでいると意外と気づかないもの。何とか気づいてもらって活気づけたいと思っていたときに出会ったのが『真壁のひなまつり』です」今でこそ有名ですが、その頃ははじまったばかり。カメラが趣味の竹蓋さんはひな人形を写真に撮り、塾のショーウィンドウに飾りました。そこから人の流れが生まれはじめます。

その後も続けていくうちに、もっとインパクトが欲しいなと思い、ふと塾の向かいにある本屋さんに立ち寄ります。そこで切り絵の入門書を手に取ったのです。試しに本屋さんの蔵を切ってみると、実にいい感じで、真壁の街を表現するのにぴったり。これが2007年のことでした。そこから、真壁の街並みや建物の風情を切り続けますが、転機が訪れます。そう、

巻頭特集

切り絵作家 竹蓋年男さん
ふるよこに残す
切り絵の魅力で
贈り物

道具はひとつ。デザインナイフ。

竹蓋（たけふた）さんの好みに合わせて作られた特注品です。

筆で描いた下絵を緻密に切り抜いて作品をつくることを

「切る」と表現する竹蓋さん。

そこにはふるさとと人に対する想いがあふれます。

紙を切りながら縁を紡ぐ竹蓋さんの活動に迫ります。



「橋本旅館の階段飾り」

2月といえばひな祭りと話す竹蓋さん。真壁のひなまつりがはじまった当初は階段飾りは斬新な飾りつけだったそう

切り絵には県の無形文化財にも指定されている西ノ内和紙を使用

写真右側のデザインナイフは“竹”蓋さんにちなんで軸が“竹”製です

竹蓋年男さん

（日立市出身・1960年2月4日生まれ）カメラと絵画が趣味。大きなお祭りから商店街の小さなお祭りまで、祭りの活気と人生の繊微の一瞬をとらえています。



「夏祭りの思い出」

400年以上歴史のある真壁祇園祭。浴衣姿で古き街並みを楽しむ姿を表現。ここで生まれ育ったことを誇りに思っ
てほしいと願って制作された



「着物で賑めぐり」

切り絵の彩色に古布を使うきっかけになった作品。通りを歩く観光客たちの華やかな着物を鮮やかに表現



「枝垂桜の灯り」

行灯とのコラボ作品。丸窓の障子を開けると満開の切り絵の枝垂桜

帰ってきたふるさと 切り絵教室、展覧会を再開

2011年の東日本大震災です。「多くの古い建物や蔵が崩れてしまい、大変なショックを受けました。ところが、地元のお年寄りたちは元気なんです。復興に向けてすぐに立ち上がりました。その姿に感銘を受け、敬意とエールを込めて真壁の人たちを切ることにしました」竹蓋さんの作品はしつぱりとして趣のある街の風景もいのですが、人物を題材にしたものにこそ自身の温かさ、慈愛に満ちた眼差しが感じられます。

真壁の街をこよなく愛する竹蓋さんにまたしても転機が：それはこのコロナ禍。密を避けるために、学習塾をお休みすることに。「2020年2月に地元、日立市に戻ってきました

た。コロナが落ち着くまで少しの間はつもりでしたが、こんなに長くなるとは思ってもみませんでしたね」
一方、帰郷を喜んだのは、日立市のファンの皆さん。すでに切り絵作家として名を馳せていた竹蓋さんには県北にもファンが大勢いるのです。「切り絵教室を開いて欲しいということ、すでに宮田町や大沼町で教室を開いています、今後もっと増やす予定です」展覧会を開いたり取材に応じたりと、帰郷後すぐに引っぱりダコの竹蓋さん。

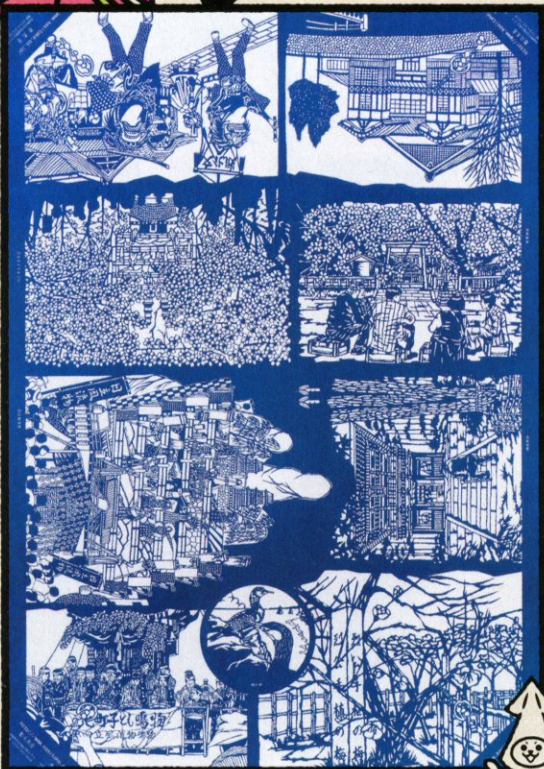
でも、私たち日立市民はもっと前2014年から竹蓋さんの作品には馴染みがあるのです。それは「菓匠たけだ」の包装紙。「社長、武田太志さんからの依頼で切ったものです。地元を離れた若者たちが帰って来ない日立市は人口減少が著しい。でも、

彼らが東京かどこかでこの包み紙を開ける時、ふるさとを懐かしく思い出せる、ふるさと自慢ができる、そんな包み紙が欲しいと言われました。私も同じ思いです。そこで社長と社長の同級生のデザイナー・吉田晃永さん、そして私の3人でつくり上げました」竹蓋さんの日立市への想いが込められたものとなりました。

日立市の魅力を作品に込め 切り絵を通して届けたい

竹蓋さんは小学5年生まで宮田小学校で学びました。その縁で昨年度同校卒業生の似顔絵を切っています。「小学校の思い出は忘れ得ぬ愛しい日々ですね。そういえば、小学6年生の時に大沼小学校に転校したんですが、修学旅行先で宮田小学校の一行とばったり会い、思いがけず旧友たちとも一緒に修学旅行を楽しめました」その大沼小学校の玄関には竹蓋さん作の『大沼小学校の昼休み』が飾られ、子どもたちに親しまれています。「個展開催のため移動した際には、『切り絵はどこに行っちゃったの?』と心配がられたそうです。2月に個展を開きますが、その際にもお借りする予定です。子どもたちにはぜひ観に行つて欲しいですね。ふるさとに広く目を向けるチャンスになりますから」ふるさととその子どもたちへの愛情あふれる竹蓋さん。これからはどんな作品を見せてくれるのでしょうか。

「自然では滝を切りたいですね。知られざる滝がたくさんあるんですよ。



「菓匠 たけだ 包装紙」

日立名所を散りばめた包装紙。日立さくらまつりの風流物や日立ささらなど9つのシーンを組み合わせたもの

インフォメーション

郷土の切り絵作家 竹蓋年男の世界展

2月1日(火)~2月27日(日)
10:00~18:00

※期間中、毎週月曜日は休館日
日立市角記念市民ギャラリー
日立市弁天町1-3-11

入場
無料



竹蓋さんの
Facebookは
こちらから!

レッツゴー!

